

バイパス整備により生活の利便性向上

- 国道153号伊南バイパス(駒ヶ根市)の延伸に伴い、バイパス沿道に大規模小売店や医療施設・自動車関連・コンビニをはじめとしたサービス施設の立地数が10年間で4倍になるなど、バイパス沿線の土地利用が促進され、生活の利便性が向上。
- 伊南バイパス沿道に多数の店舗が立地したことで、商品選びの選択が増加。
- 伊南バイパスを利用し、駒ヶ根市外からも訪れやすくなり、駒ヶ根市の商圈が拡大。

